

① 全体計画

<目指す生徒像> ・話し合いを通して、考えを深めることができる生徒  
 ・生命を尊び、心豊かな生活を築く生徒  
 ・健やかで、たくましい生徒

<各教科との関連>

○六中 ESD カレン  
 ダーを活用する。

【国語】自分の思い  
 や願いを伝えるた  
 めの表現力

【社会】地域の地理  
 や歴史に関する  
 知識、地域を愛す  
 る心

【数学】数量や図形  
 などの既習事項  
 を応用する力

【理科】環境問題に  
 関する調査方法

【英語】コミュニケ  
 ーション力

【音楽】音楽的な表  
 現力

【美術】絵や造形な  
 どを活用した表現  
 力

【技・家】よりよい  
 家庭生活への知識

【保体】安全な生活  
 に対する理解

【道徳】よりよく生  
 きるための道徳性

【特活】集団活動に  
 おける協調性

<行事との関連>

- ・社会見学（1年）
- ・スキー学習（2年）
- ・修学旅行（3年）
- ・学校奉仕活動（全学年）

・高校体験入学（3年）

<「総合的な学習の時間」のねらい>

- 自ら課題を見つけ、粘り強く追究していく力を身に付ける。
- 追究を通して、持続可能な社会の実現に向けて考えを深める。
- 課題を自分事としてとらえ、自主的に活動することができる。

<家庭・地域との連携>

- ・地域の方に関わる活動を行い、問題を身近にし、自分事として追究できるようにする。
- ・地域の行事やボランティア活動に参加し、地域に貢献できるようにする。

<中小の連携>

- ・小学校での総合学習の学びの実態をとらえ、身に付けた力を存分で発揮し、さらにのばすことができるような学習展開を考える

<育てたい力>

課題設定力	・概要把握を通して、自分の生活との関わりを考えながら、適切な課題を設定することができる。 ・追究を通して、新たな課題を発見できる。
課題追究力	・課題追究計画を立て、自分なりの方法で個人追究を進めることができる。 ・個人追究を基に、課題に対する自分なりの意見を、根拠を明らかにしながらまとめることができる。
表現力	・グループや全体発表で、自分の考えを伝える方法を工夫して、聞き手にわかりやすく発表することができる。 ・話し合い活動を通して、意見や考えを相互に批評し合い、より考えを深めることができる。
実践力	・追究を基に、自分の生活を振り返ったり、今後の自分の生き方について考えたりすることができる。 ・自分にできることを、積極的に実践することができる。

<例>

	単 元	ね ら い	活動内容
1年	地域の防災	・六ツ美学区の防災についての個人追究を行い、話し合い活動や発表会などを通して多面的に学区の防災について理解する。 ・防災について理解することで、災害時に自主的に判断して活動に参加できるようにする。	学年奉仕活動 学区の調査活動 学区清掃ボランティア 学年発表会・討論会 社会見学
2年	夢に向かって	・人生の先輩から話を聞いたり、職場体験を行ったりする中で、自分を見つめ直し、将来の自分について考えられるようにする。 ・スキー学習での立志の式を通して、自分の夢の実現に向けて、決意を明確にできるようにする。	職業調べ 家の人の職業観 職場体験計画 職場体験→まとめ 立志の式
3年	環境問題と共 に	・修学旅行で探究学習を通して、SDGsの視点からはたらき方やその効果を考える。 ・修学旅行での職場見学や高校への体験入学を生かし、自分の将来について具体的に考えられるようにする。	事前調査 訪問活動→まとめ 事業所訪問(修学旅行) 高等学校体験入学 進路決定

※各学年とも、『岡崎市環境学習プログラム』を基に、環境学習に15時間程度行う。

<評価> ・育てたい力に基づいた評価をする。

- ・評価計画・教師評価、自己評価、相互評価、他者評価など多様な方法で評価をする。

<具体的な評価方法>

- ・自己評価カード ・ポートフォリオ ・振り返りカード ・パフォーマンステスト など